

第13期 第30回 np.無料広告学校 講義録

小霜クラス 12回目

「埼玉県所沢市」表現案※30秒TVCM

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら contact@nopproblem.co.jp までご連絡ください。)

※明朝体部分は黄背景部分に関し生徒達が講義後、講義録を完成するまでに議論したやりとりです。

◆日時

2021年3月15日(月) 19時10分～20時30分

◆出席者

宇宙人、ヒゲのび太、テンパリ君、定規、語尾ハート♡、エセビ、反抗期、スカシスト、エサ待ちbot 生徒9名(女性5名、男性4名) + 小霜

小霜：お疲れさま。えーっと、みんな揃っているのかな？

エセビ：今日はボンボンさんが欠席で、9名揃っています。

小霜：はい。じゃあ早速。じゃあさ、これ作った人が説明してくれる？企画を。

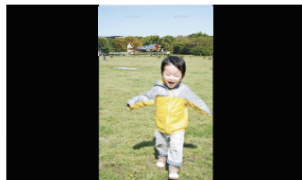
TVCM エセビ

所沢の街。



NA：この街は、
まるでテーマパーク。

動画を、
スマホで撮影する親。



航空記念公園を走る子ども。
カメラの前に駆け寄る。
周りから楽しそうな歓声も聞こえる。

子ども：早くー！（親の手を引く）
父、母：（笑い声）

西武園ゆうえんちで、
観覧車に乗る親子。
笑顔の子ども。



子ども：あれなに？
母：あれはね、野球のドーム。
子ども：あれはー？
母：あれは、湖。
今度、行ってみよっか。

「トコロザワパスポート」で
利用できる施設の写真が流れる。



NA：家族で楽しめる
たくさんのワクワクが
所沢で待っています。

「トコロザワパスポート」に
写真があつまる。



NA：今なら、
「トコロザワパスポート」発売中。

眠ってしまった子ども。
母親があやす。



子ども：（寝息）
母：いっぱい遊んだもんね。



NA：この街ぜんぶが、遊び場だ。

エセビ：はい。所沢のCMということで、インサイトの部分で体験が…

小霜：端的に。だらだら喋らずにお願いします。

エセビ：アットホームな動画、スマホで撮ったような縦長の動画を使ってもっと身近にいろんな体験が所沢の街にはあるってことを伝えるような企画です。

小霜：以上？

エセビ：はい。

小霜：そんだけ？

エセビ：企画意図は、その動画の四角の縦長の動画で…

小霜：いやそれは聞いた。

エセビ：はい…。

小霜：じゃあそんだけね。はいはい。アイデアとしては縦長動画であるということなんだけど、まあ一応ね、CMとして成立はしてるってことよ。この街はテーマパークだと、子どもがいてお母さんがいて、まあ色々いっぱいあるよと、所沢パスポート発売してるよとね。でもさ、若者がこんな企画やってていいのかね？あのさ、よく考害とかいうけどさ、なんか俺逆な気がしてて。若い奴の方がよっぽど老人だよな。

エセビ：老人化…

小霜：くっそつまんないじゃん。

エセビ；（苦笑）。はい。

小霜：こんなことやるためにクリエイティブ勉強しようと思ったのっていうね。なんかその、やっぱりさ、若いときはなんかやってやろうとか、なんか突き抜けてやろうとかね、そういうのがないとダメなんじゃないかなと思うんだよなあ。なんでその他大勢で満足しちゃうのかなあ。こんなん誰でも考えるじゃんか。誰でも考えて捨てるような企画だよ。これちゃうなって。

ボンボン 通期を通して、このスタンスの違いが、自分たちの未熟さだと感じました。

宇宙人 使えない若者なりにせめて「それっぽい」ことをやろう、みたいな意識があったように思います。もっとCDを信じていきます。

エセビ：すみません。

小霜：こうやってコンテを埋めて、一応できましたと、でもねまとめるのはおっさんの仕事なんだよね。若い奴がまとまりました、なんかいってちゃダメよ。

エセビ チームで仕事をする中での役割というか、クリエイティブを作り上げるために必要なスタンスを教えていただいたと思います。

エセビ：はい。

小霜：アイデア、おっさんが考えつかないようなアイデアをポンと出して、ああこれ面白いんじゃないか、これちょっと考えつかなかったなみたいなことがあったら、そっからおっさんまとめるんだよね。こんな仕事はちょっと悲しすぎるね。

反抗期 これこそ、新入社員を入れて会議する理由で、新しい視点を求められている、肝に命じて働き始めます。

エセビ：…はい。ありがとうございます。

小霜：じゃあ、次これ。

「バラバラな意見」篇

定規



リビングに父、母、子供4人が集う

父：なあ、今度の日曜日、どこ行きたい？



一人一人の顔がアップで映る

次男：遊園地！



長女：美術館！



長男：野球観戦！



次女：ピクニック！



母：一つに決めなさい！



父：いや、所沢なら全部できるよ



NA：いろんな遊び、揃ってます！



NA:
さらに！
所沢のいろんな場所が通い放題
トロロザワパスポート発売中！



NA: この街ぜんぶが遊び場です。

定規：2つ出させていただいたんですけど、これは一つ目で。6人家族を描いていて、リビングに会している6人家族を描いているんですけど、父が今週の日曜日どこに遊びに行きたい？と家族に聞くと。4人の子どもたちはそれぞれ、遊園地とか野球観戦とかそれぞれ全然違う場所を言うんですけど、おかあさんがそれって多すぎるよみたいな、ひとつにまとめて！っていう話をするんですけど、お父さんが所沢なら全部あるよっていう提案をします。いろんな遊び揃ってますっていう所沢に遊びが揃っていることを伝えて、さらに今なら所沢パスポートで全部行き放題。この街全部が遊び場ですっていう形で締めくくってという企画です。

小霜：はい。これもね、成立はしてるのよ。今回は成立してない・訳が分からないものが出てくるんじゃないかなと思ったんだけど、割とみんな成立はしてるのよ。そこは安心したんだけど、もうねやっぱり成立してるだけ。これもね老人企画よ。なんか50歳とか60歳のプランナーが考えた感じの。そんなんでもいいの。

定規：…そうですね。

小霜：うん。あるいは、役人が自分で考えた感じ。これがね、もしテレビで流れてたら、うわー所沢の市役所の広報の担当者が自分で作ったんだなーみたいな感じで見るよね。「ピクニック、ひとつに決めなさい」「いや、所沢なら全部できるよ」「いろんな遊び揃ってます」「さらに所沢のいろんな場所に入り放題、とこパス発売中」「この街全部が遊び場です、所沢市」こんな感じでしょ？映画館行ったらさ、映画の街角みたいなのところでよく流れるような感じだよ。これはちょっと恥ずかしいだろ、若者として。あれ、2つって言ってたよね？

定規：そうですね。

小霜：もう一つがなくなっちゃったから、あとで出てくるのかな。はい。じゃあこれ。

提出者：テンパリ君1案目

所沢駅

若者の4名程度の集団がいる。

①くつひもを結ぶ

②ポケットにパスポートをしまう



パルクールで、所沢の「遊び場」を次々と走り回っていく

SE
地面を蹴る音

所沢の遊び施設を、一覧で並べる



NA
この街を、遊びまわれ！

航空公園の飛行機が背景。出演者が画面に向かってまっすぐ走ってくる



NA
所沢 PlayGround



NA
所沢パスポート
発売中

テンパリ君：はい、私でございます。えっと、これ所沢市の駅からパルクールで街を遊びまわる企画にしたいと思って。その理由は、街ぜんぶが遊び場だっていうことは、遊びまわっているっていうところを表現するためにパルクールだったら人が驚いて見てくれるんじゃないかと思って飛び回っているような映像の企画にできないかと思って作りました。

小霜：はい。まあね、パルクールが案内役になるってところよね。

テンパリ君：はいそうです。

小霜：まあ一応、そうね。どうかな。わりかしね、エージェンシーの平均的プランナーが持ってきそうな企画。

テンパリ君：ということは、あまりさっきから教えていただいているような…

小霜：まあ、僕はボツにする。

テンパリ君：そうですね。

小霜：パルクールっていうのが新しくないからね。よくある。パルクール使ってるのはもう。

テンパリ君：はい。

小霜：そういう意味では、いまいちかっこ悪いかな。僕はボツにするけれど、平均的な世界では採用されるかもしれない。うん。あとね、パスポートしまっうって書いてあるけれどこれは意味ないよ。なんのこっちゃ分かんないから。こういうのは余計なだけ。

テンパリ君 平均的な世界では、人の心は動かないと思うので、大反省です…。

テンパリ君：分かりました。ありがとうございます。今のって僕ちょっと変に考えちゃって、最後のところにパスポート販売してるからっていうことを言うための変に伏線みたいにしようとしてしまっう。

小霜：だから、伏線にならない。

テンパリ君：伏線にならないってことですよね。

小霜：ならないから、いらない。

テンパリ君：分かりました。ありがとうございます。

小霜：むしろね、これってなんの意味があるの？みたいな感じになっうちゃって、意識が散る。

提出者：テンパリ君2案目

所沢に建っている家

子供達がゲームをしている



Title

埼玉県 所沢市

ゲームのやりすぎに
怒るママ

子供達、外に追い出される。



ママ

コラ！
外で遊んできなさい！

子供達

ひー！

新たなたくらみをする顔

引きの絵で、街全体を見渡す
感じ。街全体に、遊び場が
いくつもプロットされている。



子供達

でも大丈夫！

所沢は、
街全体が遊び場だから！！

所沢での遊びの体験を
何枚もうつつ

(コンテ上、写真が適
切なのが少なかった
が、楽しんでいる顔が
うつるようにする)



NA & Title

所沢PlayGround

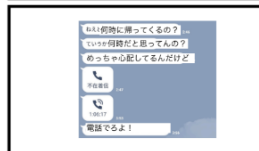
子供がパスポートを手に
もっているイメージ



NA

今なら！
施設利用料、1年間割引！

暗くなるまで遊びすぎた
ママからの鬼ラインに気づく



子供達

やばっ

テンパリ君：ありがとうございます。2案めは、所沢市の家でゲームをしている子ども達にお母さんがブチギレ
て、外に追い出されましたと。でも、大丈夫、所沢は街全体が遊び場だからゲームなんかなくてもい
くらでも楽しいことがありますっていう体験を表現して、遊びすぎちゃったから怒っていたママから
もう一度怒られるような鬼ラインがきましたっていうオチをつけました。

小霜：これ意味わかんない。

テンパリ君：はい。

小霜：だってさ、この子らはゲームがしたいんだよね。

テンパリ君：はい、この時はそうですね。

小霜：外で遊んで来なさい、ひー！って言って、ゲームがしたいのに大丈夫にはならないよ。そうでしょ。

テンパリ君：もともとしたかったことができなくなってるからですよ。

小霜：うん、繋がらないよね。ゲームがしたいのに、所沢は街全体が遊び場だから大丈夫っていうのは、これぞ一つと言ってきたことだけど、送り手の都合。共感しない。ゲームできないけど、所沢だったら大丈夫っていうのは作り話。だからこれは成立してない。

反抗期 ストーリーを作るときも、リアルを大切にしなければならぬと感じました。

テンパリ君：はい。

小霜：はい。

テンパリ君：ありがとうございます。…以上でございました。ありがとうございます。

小霜：はい。じゃあこれ。

いつでもすぐ遊びに行ける 篇



<家にて>
子供) パパ、今からジェットコースター乗りに行かない？
パパ) いいよ！
<西武園ゆうえんちにて>
子供・パパ) ギャー—————！！



<家にて>
子供) 次は、野球見たいな～
パパ) いいよ！
<メットライフドームにて>
子供・パパ) うお—————！！



<家にて>
子供) ママ、かけっこしよ～
ママ) もちろん、いいわよ！
<航空公園にて>
子供・ママ) イェーイ！！



<家にて>

子供) ところで、なんですぐに遊びに行かせてくれるの？
パパ) それはね、所沢市は『所沢PlayGround』って言われていて
遊べる場所が身近にいっぱいあるからなんだよ！
子供) へえ〜、所沢って住めるテーマパークなんだね！



NA) 次はどの所沢で遊ぶ??
『所沢PlayGround』



NA) 今なら所沢市にある施設が定額で遊び放題になる
「トコロザワパスポート」発売中

スカシスト : はい。一つ目は、いつでもすぐに遊びに行けるぐらいの距離感に遊びがあるように伝える企画にしようと思いました。前半で所沢の遊び場ってところを提示して、後半でそれは所沢プレイグラウンドのおかげなんだよって答え合わせをするような流れにしています。ただ、小霜さんがおっしゃっている通り、特に挑戦もない企画だったかなと思っております。以上です。

小霜 : 僕はね、これ悪くないと思ってるんだよ。

スカシスト : ほんとですか (笑) 。

小霜 : あの、ノリがね。ジェットコースター乗りいかない? いいよ、ぎゃー! 野球見たいな。いいよ、うおー! かえっこしよう? いいわよ、イエーイ! っていうね、畳み掛ける感じが。

スカシスト : はい。

小霜 : バカバカしくて、そういうノリで押すっていうのはあるなって。だから、君はなんも考えないでこういうふうに行ったんだと思うけど、俺だったらここをドカンと膨らますよね。ぎゃー! うおー! イエーイ! 見たいな?

スカシスト : このレイアウトっていうか、コンテから雰囲気を出すためのものですか。

小霜 : そうね。でもここね。これが (ところで、なんで~部分) 全部いらない。ぱっさりいらない。ここがね、分かってないってことなのよ。つまり、ぎゃー! うおー! イエーイ! 次はどこの所沢で遊ぶ? 所沢PlayGroundでいいのよ。

テンバリ君 : 確かに、と思いました。「引き算」と最初に教わったこと、自分はまったく身につけていないと感じます。

スカシスト : なるほど。

小霜：成立してんじゃん。「ところで、何ですぐに遊びに行かせてくれるの？それはね、所沢市がなんとか、うんぬんかんぬん…」ってね、そんなこと言わなくたって、こんなこと言い始めたらノリが全部…

スカシスト：冷めちゃうってということですか。

小霜：冷めちゃうっていうかさ、もうモタモタしちゃって、ださいじゃん。

スカシスト：なるほど。所沢PlayGroundっていうのを、僕はこの部分で説明があるのかなと思って足し算をしちゃって。

小霜：そう、足し算ね。余計な足し算。

スカシスト：なるほど、分かりました。

小霜：CMで大事なものはノリなのよ、ノリ。西武遊園地「ぎゃー！」何とかドーム「うおー！」なんとかなんとか「イエーイ！」次はどこの所沢で遊ぶ？所沢PlayGroundで分かるじゃん。

宇宙人 パッとわかって気持ちいいことが大事なのかな、と受け取りました。確かにCMでもたつきは感じたくないですね

スカシスト：はい。

小霜：何でこんなもんくつつける？そこがね、やっぱり君が分かってないってところなのよ。広告ってものを。

スカシスト：はい。

小霜：ずーっと言ってる、足すことの安心感。足すことの安心感を克服しろと、広告は引き算だよと。シンプルで強いものがいい。

スカシスト：わかりました。ありがとうございます。

小霜：じゃあこれは？

所沢なんもなくなる 篇



パパ) たまには家族でどっかに行こうか。
ママ) じゃあ、所沢に行くのはどう？
パパ) え〜、所沢ってなんもね〜じゃん。



ママ) ……は??
子供) (じっと見つめる)
ねこ) (じっと見つめる)
パパ) えつつつ (困惑)
(背後から視線を感じて振り返る) はっ!!



テレビの中の所沢市長) (パパと市長がじっと見つめ合う)
お父さん、
所沢市には、西武園ゆうえんち・メットライフドーム・トトロの森など
家族で楽しめる遊び場がたくさんあります！
週末にぜひ『所沢PlayGround』へいらしてみませんか？



パパ) (みんなから見つめられる)
い、行きます！
いや、行かせてください！！
ママ・子供・ねこ) (飛び跳ねて) やったーーーー！！



NA) この街、すべてが遊び場になる。
『所沢PlayGround』
今なら所沢市にある施設が定額で遊び放題になる
「トコロザワパスポート」発売中！

スカシスト：2案目なんですけれども、これは所沢はノーブランド性が強いってところを切り口として、本当は所沢には遊び場がたくさんあるんですよっていうようなことを伝える流れにしています。前半で所沢って何もないって思っている人の共感を取りに行き、後半でその認識が違っているんですよと市長の口から言ってあげるようにしています。

小霜：なんか老人企画。

スカシスト：そうです。わかります。

小霜：うん、かったるいよね。所沢市役所の広報担当が頑張って作ったんだなーみたいなの。所沢市役所の忘年会とかでさ、流れる感じよ。

スカシスト：ありがとうございました。

小霜：はい。

所沢PLAYGROUND 30秒CM

遊園地の帰り、帰りたくなくて
駄々をこねる子供と
困っている母親。
遠方から来ているらしい。



子供) やだぁ～帰りたくない!
ここに住む!
母) ワガママ言わないの、
家まで遠いんだから帰るよ!

カメラがぐるっと切り替わると、
遊園地の真ん中に布団を敷いて
寝ている子供が。



住民1)
住めるよ!

図書館の真ん中で
テーブルに座って
ご飯を食べている子供。



住民2)
ここにも住める!

公園の真ん中で
部屋でくつろぐように
ソファに寝そべっている子供。
(テーマパークの中で
家の中のように暮らしている)



住民3)
所沢市に住もう!

所沢市のスポットが並んだ上に
所沢PLAYGROUNDの文字



NA)
この街全部が遊び場だ!
所沢PLAYGROUND

所沢の遊びスポットが
次々とスライドで登場



NA)
これも、これも、実は
全部所沢市内!

所沢市のメリットを訴求



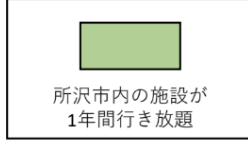
NA)
暮らしも充実!
東京まで直通で20分!
川越にもちかーい!

機嫌を直した子供と
すぐ帰れるから明日も遊ぼうと
思い直す母親



子供) 明日は公園行きたい!
母) うん! 行こうか!

所沢バスポート告知



NA)
お得な年間バス発売中!

宇宙人: これは、最初遊園地に行って、夕方子どもが、やだ帰りたくないって駄々をこねているシーンから始まって、やだー帰りたくないここに住むと言ったら、お母さんがわがママ言わないの家まで遠いんだから帰るよ、と言ったところでカメラがぐるっと回って、遊園地に布団を敷いて寝ている子どもがいて「住めるよ!」って言って。場面が切り替わって図書館の真ん中でテーブルに座ってご飯を食べてる子どもがいて「住めるよ!」みたいなことを言って。最後に公園の真ん中で部屋でくつろぐようにソファに寝そべっている子どもがいて、「所沢市に住もう!」って一言を言って、最後に所沢PlayGroundの文字と、この街全部が遊び場だとコピーが入って、所沢の遊びスポットが次々スライドで登場して、これもこれも全部所沢市内で暮らしも充実、東京まで直通で20分で川越にも近かってメリット訴求が入っ

て、最後に子どもが「明日は公園行きたい」お母さんが「うん、行こう」と言う。所沢だとどこにでも行けるし近いから2人ともご機嫌が直ったというオチになって、最後所沢パスポートの告知を入れました。

小霜：ここのなかで、君のアイデアはどれ？君ならではのアイデア。

宇宙人：一応、その遊園地とか図書館とか航空公園とか、の中に突然人が住んでるみたいなことで、オリジナリティを出そうと思ったんですが。

小霜：え、住んでるの。あーなるほどね。そういうことか。

宇宙人：はい。遊園地の中に布団を敷いて子どもが寝ているみたいな。所沢市に住めることの暗喩というか。

小霜：えっとね。今回の企画の中で、僕が一番評価したのはこれなのよ。なぜかという自分では思いつかないなと思ったから。でね、よく見る光景として子どもが駄々こねるよね。まだ帰んないって言って。まだ帰んないまだ帰んないって時に、お母さんがじゃあここに住む？って言ったりするじゃん。

宇宙人：ありがとうございます！！

定規：具体的で共感性のあるシーンを発見/想像できていて、とてもいいなと思いました！

宇宙人：はい。

小霜：じゃあここに住めば？みたいに言ったら、住民が住めるよって言うのは結構ありだなと思ったわけ。そういうこと言うと、冒頭が子どもがここに住むって言うのは違うと思う。わがまま言わないの、家まで遠いんだから帰るよって言うのはちょっと台詞としてイマイチ。ここはよくある風景にしたほうがいいのかと思うんで。

宇宙人：そうですね。遠いからと強調しようとしすぎて変な台詞に…。

小霜：ああ、だからねそういうのがダメなんだ。そういうのが足し算だと言ってらんだよ。

宇宙人：言いたいことを詰めすぎてセリフが自然じゃないと小霜さんの指摘でようやく気がつきました。「住みたい（できない）」「住めるよ」の対比をコントにしたかったので、「じゃあ住むの？（住まないくせに）」「住めるよ！」でも確かに通じます！

宇宙人：はい。

小霜：説明を入れていこうみたいなのが全然ダメなんで。子どもは、まだ帰りたくない帰りたくないって言うていたら、お母さんがじゃあもうここに住んじゃえば！とかさ、言うて。

宇宙人：はい。

小霜：うんと、宇宙人ね、ずっと気になってたけど「はい」って言うのが癖だと思うんだけど、ほんとになんか分かってるのかなと不安にさせる「はい」だよ。言われることない？

ボンボン たしかに「はい」の語尾の上げ方に違和感を感じる方もいるかも知れません。（えらそうにすみません・・・）

宇宙人：なんかヘーベルハウスみたいな返事するなと言われたことはあるんですけど。

小霜：あれね、はいーみたいなやつね。

宇宙人：心がこもってないというか、すみません。

小霜：めっちゃ不安になるんだよ。

…だから多分、お母さんがここに住む？とか住んじゃえば！みたいなことを言ったのを受けて、住民が住めますよ！とか言ってきてるのがいいんじゃないかな。

宇宙人：なるほど、そのほうが面白いと思いました。ありがとうございます。

小霜：それと、冒頭で子どもが帰りたくないと言っている理由が分かんない。現状。これ遊園地の帰りってなってるけど、道端だと全く分かんないよね。だからまさに遊園地の中、遊園地の中にさ、子どもが遊ぶ無料スペースがあるの。公園みたいなね、遊具がいっぱいあるような、そこがいいね。

宇宙人 恥ずかしいながら遊園地の道端にいればわかるだろうという甘い考えでした。このディティールの細かさやこだわりが突き抜ける一つの手段ですね、意識していきます。

宇宙人：確かに。

小霜：子どもってね、そういうところに行くと、離れないよね。そこで駄々こねてたら、隣のところから住民が住めますよって言うてくるっていうね。そういうふうにしたほうがいいな。はい。

宇宙人：はい。ありがとうございます。

小霜：大事なことは、今僕が言ったように、なんか若い奴がワンアイデア出せばあとはCDが形にするから。このコンテを埋めるのが大事なんじゃなくて、ワンアイデアあるかないかが大事なんだよ。それがなければコンテ埋まってもそれ無価値。ワンアイデアあれば、コンテがよれてても歪んでても全然OKっていうこと。若い奴はワンアイデアにこだわる。

ヒゲのび太 若手に求められるのは、ワンアイデア。日々の業務の中でも、CDやリーダーが思い付かないような、若くて新鮮なアイデアにこだわるのがとても大事だと、1年間ずっと言っていたと思いますが、大切にしたいことだと思います。

宇宙人 ドスベリを恐れずワンアイデアを出していこうと思いました。ありがとうございます。

宇宙人：はい。ありがとうございます。

小霜：はい。

宇宙人：今の「はい」は大丈夫でしょうか？聞こえ方が…

小霜：うん。よかった。

宇宙人 社会人らしくしっかりした返事をしていきます！

ボンボン ^ ^

宇宙人：はい。

小霜：じゃあ次これ。

状況：所沢の名物スポットに来ているが、帰る時間になった

語尾ハート♡ (川口) 案①帰りたくない1



大袈裟に泣きながら
姉：「帰りたくないよお！」



家族全員集合して、
大袈裟に泣きながら、カメラ目線で
家族全員「帰りたくない〜！」



大袈裟に泣きながら
弟：「帰りたくないよお！」



所沢市長：帰らなくていいんだよ。



大袈裟に泣きながら
パパ：「帰りたくない！」



家族全員ビックリした顔で
カメラ目線で
家族全員「え？」



大袈裟に泣きながら
ママ：「帰りたくないわあ」



所沢市長：住んでみない？

語尾ハート♡ (川口) 案①帰りたくない2



冒険の地図のようなテイストで
所沢の地図が写しだされる



NA：今なら所沢にある様々な施
設・体験を一年間し放題の所沢
PASS実施中！



TOKOROZAWA PLAYGROUNDの
ロゴが出現する

NA：TOKOROZAWA PLAYGROUND！！



所沢市長：「そう！所沢は住め
るテーマパーク！」



家族全員「わ〜〜！」
と感動したりアクション

語尾ハート♡：はい。私です。所沢の名物スポットがまず映し出されるんですけど、プールのところでお姉ちゃん「帰りたくないよ」って、すぐシーンが変わって弟が遊園地で「帰りたくないよ」って言って、パパもゴルフ場で「帰りたくない」、ママも「帰りたくないわ」って言っていて。みんな家族

が帰りたくないっていうふうに泣いていたら、所沢市長が「帰らなくていいんだよ」って、家族が「え？」っていうふうに言ったら、所沢市長が「住んでみない？」っていうふうに提案します。そしたら、所沢の地図が冒険の地図のようなマップのテイストで映し出されて、そこに所沢PlayGroundと書かれていて。所沢市長が「そう、所沢は住めるテーマパーク」と言ったら家族がワー！と全員リアクションする。で、最後に所沢パスポートの紹介です。

小霜：えっとね、これは結構俺は好きなんだよね。あの、市長みたいなのを出すとすると、意外な出し方しなきゃいけないと思うのね。意外な出し方をしないと、さっきみたいに忘年会ビデオになっちゃう。これはね、そうきたかっていうのがあって、結構いいかなと。なんか「帰りたくないよ」「帰りたくないよ」「帰りたくない」「帰りたくないわ」と、そうしたら「帰らなくていいんだよ～」って市長が出てくるっていうのは、お！そうきたかって感じなんだよね。

宇宙人：私もこの展開好きです。意外なところに堅い職業の人が出てくると笑ってしまいます

ただね、こっから先がダメ。つまんない。なんかもうありきたり。え？っていうのもよくあるリアクションだから面白くない。「住んでみない？」ってのもつまんない。俺だったらこういうのやめちゃって、しかもね冒険の地図っていうのがもうダメダメ。冒険の地図って住むところじゃないじゃん。

語尾ハート：繋がらないものをくっつけてしまいました

語尾ハート♡：確かにそうですね。ズレてますね。

小霜：なんで冒険の地図なんだよ。

語尾ハート♡：なんかワクワクすると思ってしまいました。冒険の地図が。

小霜：だからね、全然ダメ。

語尾ハート♡：はい。

小霜：住めるんだぞってことが言いたいわけじゃんか。だったらやっぱり所沢の普通の住宅地図だよな。所沢PI ayGroundのロゴと一緒に、普通の所沢の街の絵があって。あとね、市長がペラペラ喋ると嫌になるんだよ。一言ポロッなんだよ。で、市長にこんなこと言わせるんじゃなくて、所沢は住めるテーマパーク…あと所沢PlayGroundのコピーあったろう？

エセビ：市長がペラペラ喋ると嫌になるというのは、宣伝感が強くなるということでしょうか…

語尾ハート♡：はい。

小霜：あれなんでないの？

語尾ハート♡：流れに入らないなと思って…。

小霜：ダメだろう、入れないと。それをナレーションで言って、最後市長がもう一回出てきて「帰らなくていいんだよ〜」って言ったのを受けて、最後「住んでいいんだよ〜」とひとこと言って終わり。ぶら下がりでパスポートをつけるというような感じじゃない？

語尾ハート♡：ありがとうございます。

小霜：はい、これは？

語尾ハート♡ (川口) 案②不動産屋1



状況：不動産屋さんに母と娘が来て、娘の一人暮らし用の物件の相談をしている。
不動産屋：「どんな物件をお探して？」



不動産屋：ありますよ。



娘：そうですね。家賃が安くて、アクセスが良くて、ゴルフを毎日できて、プールもあって、遊園地もあって、文化やカルチャーが充実しているのは最低条件ですかね



不動産屋：そう！
TOKOROZAWA
PLAYGROUND



母：あんた、、、そんなところないわよ。



母・娘：
TOKOROZAWA
PLAYGROUND？

語尾ハート♡ (川口) 案②不動産屋2



所沢の遊び場が次々に写しだされる

不動産屋：そう！所沢には遊ぶ場所がこーんなにたくさん！
もはや住めるテーマパークなんです。



娘：いいかも！！



母：ママも住みたい！



娘・不動産屋：ママも？！



不動産屋：さらに、今なら、所沢にある様々な施設・体験を一年間し放題の所沢PASSもあるので、毎日楽しく過ごすことができますよ



語尾ハート♡：これは、不動産屋さんに娘と母が来ている状況です。で、不動産屋さんが「どんな物件探してるの？」と娘に言ったら、娘が「家賃が安くて、アクセスが良くて、ゴルフが毎日できて、プールもあって、遊園地もあって、文化やカルチャーが充実しているのは最低条件ですかね」みたいに色々条件を言ったら、お母さんが「そんなところないわよ」と呆れて言います。そうしたら不動産屋さんが「ありますよ」と所沢PlayGroundを紹介します。で、母と娘は「所沢PlayGround？」っていうふうに言って、そうしたら所沢の場所が次々に映し出されて、不動産屋さんが「そう、所沢には遊べる場所がこんなにたくさん。もはや住めるテーマパークなんです」で、娘が「いいかも！」というふうに言います。で、不動産屋さんは「さらに…」から所沢パスポートの説明があって、お母さんが「ママも住みたい！」と言ったら娘と不動産屋さんが「ママも？」とびっくりするというものです。

小霜：これはね、もうただの説明ビデオ。

語尾ハート♡ 説明ビデオにならないようにはどうしたらよいか、再度考えたいと思いました。

語尾ハート♡：うーん。

小霜：めちゃくちゃ出来悪い。モタモタしててノリは悪くて、しかもありきたり。もうダメ。

語尾ハート♡：分かりました。ありがとうございました。

小霜：じゃあ次。

TOKOROZAWA PLAYGROUNDを知らない男

表現案①

—反抗期

オフィス
隣の席の後輩が話しかけてくる
後輩のデスクの電話がなり会話中断



後輩「TOKOROZAWA PLAYGROUND行きました？」
男「うん？」
デスクの電話ブルブルルル…

営業外回り中
女子高校生とすれ違い会話が聞こえてくる



街中の女子高校生
「TOKOROZAWA PLAYGROUNDめっちゃ楽しんだが」

帰宅し家でくつろぐ男
娘と妻に話しかけられる



娘「ババァ、TOKOROZAWA PLAYGROUND行こうよお」
妻「もはや住めるテーマパークと言われるんでしょ、楽しそう」



↓
男
懐疑的な表情を浮かべ、
おそろおそろ妻、娘に尋ねる



男
「え？住めるテーマパーク…？
TOKOROZAWA PLAYGROUNDってなに…？」

妻・娘
は？そんなことも知らないの？といったような
呆れた顔を男に向ける



男
その場の空気感に耐えられず、
家を飛び出し走り出す

走る絵が静止画に変わり、
注釈のような形で、
ナレーション、字幕で
TOKOROZAWA PLAYGROUNDの
説明が入る。



男
「TOKOROZAWA PLAYGROUNDってなんだー！」

ナレーション、字幕
「TOKOROZAWA PLAYGROUNDとは、所沢市が
遊びに特化するあまりつけられた呼び名です。」

男
走り行き着いた場所は、
様々な遊びを楽しんでいる人々が目に入る
ユートピアのような所沢市。



男
両手を広げ、
楽しそうな雰囲気興奮の表情を浮かべる。

所沢パスポートの紹介



ナレーション
「所沢にある遊びの施設全部が、
1年間行き放題になる、
所沢を遊びつくすための
パスポートも誕生しています。」

所沢市タグライン



ナレーション
「この街ぜんぶが、遊び場だ。所沢市。」

反抗期：はい。私が出したのが、最初に所沢PlayGroundを一人だけ知らない男の人っていう設定で出しました。オフィスで同僚が話しかけてくるんですけど中断されて、外を歩いていたら所沢PlayGroundという言葉が女子高生が話しているのが耳に入って、家に帰ったら行こうよと娘に言われて、でもその男は知らないみたい。何？と家族に聞いたら、はあ？そんなことも知らないの？という顔をされて、何だア——！みたいな感じで走り出したら所沢に着くみたい。そういう自分だけ置いてけぼりにされてる感と所沢PlayGroundを何回も出すことで覚えてもらいたいと思って書きました。

小霜：これね、よくあるパターン。自分だけ知らないっていうのはね、昔からあるパターンでね。まあ、これはないね、ありきたりすぎて。狙いはわかるのよ。所沢PlayGroundっていうのを何度も繰り返して気にさせようっていうのは成立はしてるの。してるんだけど俺だけが知らないっていうのがね、あまりにも昔からあるパターンすぎて恥ずかしい。

語尾ハート よくあるなあとは私は実感出来なかったの、CMや広告をもっともっと見ていきたいと思った

反抗期：（苦笑）。

小霜：うん、これやっちゃったら恥ずかしい。

TOKOROZAWA PLAYGROUND running&song

表現案②

－反抗期

参考：タマホームCM <https://www.youtube.com/watch?v=LTNX4DpEgeM>
こういう印象的でポップな音楽を流しながら、というイメージです。



耳打ちされる男



男
「え？所沢が住めるテーマパーク？」
どうということ？と言わんばかりの、半信半疑の表情。

おもむろに走り出す男



角川武蔵野ミュージアムに到着する男



体で味わい楽しむ男



音楽に合わせてタマホームのような
タイミングで歌声、字幕
「TOKOROZAWA PLAYGROUND」

西武遊園地に
到着する男



ジェットコースターを楽しむ男



TOKOROZAWA PLAY GROUND

音楽に合わせてタマホームのような
タイミングで歌声、字幕
「TOKOROZAWA PLAYGROUND」



航空記念公園を
走り抜けて、



所沢市住宅街をランニングしながら、
「うん、住めるテーマパークだ」
納得した表情を浮かべる。



TOKOROZAWA PLAY GROUND

音楽に合わせてタマホームのような
タイミングで歌声、字幕
「TOKOROZAWA PLAYGROUND」



所沢パスポートの紹介



ナレーション
「所沢にある遊びの施設全部が、1年間行き放題になる、
所沢を遊びつくすためのパスポートが誕生しました。」

所沢市タグライン



ナレーション
「この街ぜんぶが、遊び場だ。所沢市。」

走れる距離（市内）に様々な施設が揃っている、ということランニングという動作とめぐるスポットをどんどん切り替えていくことで伝え、音楽に合わせて何度も「TOKOROZAWA PLAYGROUND」と文字と歌詞で伝えることで、印象に残してもらえないかと思いました。

反抗期：はい。そしたら2つ目も結構そうなんですけれど。私が所沢PlayGroundというワードをどうやって覚えてもらおうかなと思った時に、一番最初に思いついたのがタマホームで。画面にドーンと出てくるのって印象的だなと思って書きました。こういうふうに耳打ちされて、「え？住めるテーマパークどうい

うこと？」って言い出して、各地に男が到着していくんですけど、音楽に合わせて字がバーっとサビのところに出てくるみたいなイメージです。

小霜：あ、終わり？

反抗期：以上です。

小霜：こっちはまだいいけどね。とにかく、どーんどーんどーんとね、出るっていう。潔い。さっきのはさ、ちょっと小手先なのよ。小賢しい感じが鼻につくんだよね。

反抗期：はい。

小霜：こっちの方がシンプルで強くていいよ。これだったら実際にやってもいいんじゃない？と思うけどね。これも所沢、これも所沢、これも所沢みたいな感じでさ。がーんがーんがーんっていうのはCMになってると思う。CMになってるし恥ずかしくない。

反抗期：どんなものがCMか、という理解が甘かったなと思いました。

反抗期：ありがとうございます。

小霜：はい。じゃあこれは？

所沢_TV CM案

エサ待ちbot



(ニュース番組のように始まる)

【速報】
今日本の中で最も熱い街、所沢市では
「住めるテーマパーク計画」が進行中です。その名も...



(ズームインしていく)

(以下、VTR)
♪ TOKOROZAWA PLAYGROUND



♪ サブカルチャーの、サクラタウン



(スタジオに戻る)

コメンテーターA)
なるほど・・・まさにテーマパークのように、たくさんの施設を満喫できる
とのことですね！
でも、こんなに選択肢があるなら、どこに行こうか迷ってしまいそうです。



コメンテーターB)
そうなんです！そんな皆さんの声にお答えして最近発売されたのが、
所沢パスポート、通称トコパスなんです！
これを使えば、定額で所沢の施設が遊び放題なんですって。

コメンテーターA)
ぜひこれで、TOKOROZAWA PLAYGROUNDを堪能してみたいですね。



♪ TOKOROZAWA PLAYGROUND



♪ 昔なつかし、遊園地



♪ 自然もたっぷり、満喫できちゃう

エサ待ちbot : はい、説明させていただきます。私はニュース番組の中で所沢市を紹介していくという案にしたんですけれど。まず速報みたいなのが流れて「所沢市では今住めるテーマパークが計画進行中です」みたいな感じが流れて、最初は地球の画像からどんどん所沢にズームインして行って、そのあとにサクラタウンだったりとか遊園地だったりとか、狭山湖。自然のチョイスで狭山湖を入れてみたんですけれど、そのVTRがニュースとは違うVTRで流れて。そのあとニュースのスタジオに戻って、コメンテーターが「なるほど、こんなに自然が満喫できるんですね」みたいな感じのことを言って、ニュースでよく使われるボードみたいなところが登場してそこで所沢パスポートの説明をする。最後に所沢PlayGroundっていう。とこパスの情報流したあとに、所沢PlayGroundっていう情報を入れたんですけれど…。VTRのところで言い忘れちゃったんですけれど、それは割とノリノリの音楽で、そういえば秩父のCMとかって結構踊りとかでポップな感じのVTRじゃないですか。そういうニュースらしからぬVTRを挟んで、またニュースっぽく真面目な雰囲気に戻るギャップみたいなところを演出したいなと思ったんですけれど、ちょっと文字じゃ全然伝わらないなと…

小霜 : いやいや、というよりもそれはね意味不明になる。あのさ、結論から言ったらこれはダメ。何でダメかと言ったら、もうね、ニュース番組風のやつっていうのはごまんとあるから。これこそ恥ずかしい。

エサ待ちbot : はい。すみません。

小霜 : でね、CMっていうのはモチーフっていうのがあるのよ。つまり、ニュース番組で紹介するっていうモチーフでやるんだったら、このコメンテーターが頭にいなきゃダメだ。

テンバリ君 ニュース番組の体で、お客さんに伝えるために、もっともわかりやすい表現は、アナウンサーですよ。弊社に事例があります。

https://www.youtube.com/watch?v=09Ly8ku8UNg&list=PLoItY_TAfVepGs2_rQNZZd3i5Kn2oRSDj&index=7

エサ待ちbot : あー確かに。すみません。

小霜 : 意味わかんないこれじゃ。

エサ待ちbot : 突然それが出てきたら確かに…。

小霜 : こいつらが頭において、ニュース番組のように始まるって言っているにも関わらず、ニュースのアナウンサーが「今、日本の中で最も熱い場所…」って言わないよ。宣伝じゃん。

エサ待ちbot : 確かに。

小霜 : だから、ぐちゃぐちゃなんだよ。全部。

エサ待ちbot : 都合よく自分で捻じ曲げちゃってるってことですよ。

小霜 : そう。ニュース番組っていうモチーフでやるんだったら、本当にニュースを読んでいるかのように整えなきゃダメ。

エサ待ちbot : なるほど。モチーフですらも無くなっちゃっているというか。

小霜 : ん？

エサ待ちbot : ニュースというモチーフですらも、モチーフにしようと私は考えていたんですけども、それすらも…

小霜 : できてない。で、この中もニュース番組風になってないといけないわけで。ここは明るくて元に戻ったら真面目とかって言うけれども、そんなものは理解できない。何やってんの？というふうにしかならないんで。この中もやっぱりニュースっていうモチーフで紹介していくしかない。

エサ待ちbot : もしニュースを題材にするなら、それも良くないけどって話ですよ。

小霜 : はい。ここがね、たるい。

エサ待ちbot : そうですよ。ここお話聞いててそうなんだろうなって自分でも思っていました。

小霜 : で、今ニュースっていうモチーフで紹介するっていうことしかないのよね、面白いところが。足りない全然。はい。

エサ待ちbot モチーフを作ること、何かIVCMらしいものを作らなければと意気込みすぎてしまって結局どこにでもあのような案に落ち着いてしまったことは大反省です・・・

エサ待ちbot : はい。分かりました。ありがとうございます。

小霜：はい、じゃあこれ。

所沢Playground CM

「この街ぜんぶが遊び場だ」わかりやすい

ヒゲのび太

・公園で過ごすいつもの週末。

・楽しそうな子供を尻目に、代わり映えない感じに、心の中では退屈をかんじている親(両親)

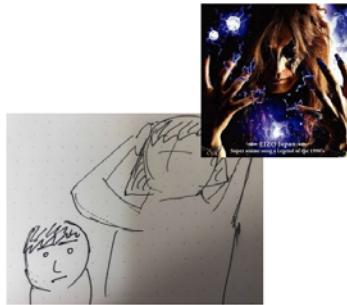


子供：いってきまーす。
母：
はーい。
いってらっしゃい。

メタル系のBGM

(心の声)
あ"~~~~!
最近週末ずっとおんなじ!!(公園!!)
付き添いの公園大人やること(ない!)
退屈だあ"~~~~!!!

・隣でママのメタルを見ていた息子が「嫉を引っ張り一言。」



じゃあ、所沢は？

所沢Playground CM

「この街ぜんぶが遊び場だ」わかりやすい

ヒゲのび太

・所沢市の本格的でたのしい遊び場のヴィジュアルをスピーディーに見せる。

どんな遊び場なのかを、しっかり伝えます。



軽快な音楽~~~~♪

NA:
青空野球教室じゃなくて、プロ野球のドーム球場。

公園の遊具じゃなくて、遊園地。スキー場。大自然。最先端の図書館ミュージアム。

そのすべてがここ所沢市にある！

・所沢市の遊び場のサムネイル映像の上にコピーを載せる



いざ、ところざわPlayground !

キラーン

軽快な音楽〜〜♪

・所沢市で楽しむ冒頭の家族のビジュアルとコピーを見せる。



※カメラ目線で、ノリノリで楽しんでいる様子

この街ぜんぶが遊び場だ。

(家族みんなで) イエーイ!

軽快な音楽〜〜♪

家族全員：
この街ぜんぶが遊び場だ！

・CMの一番最後に「とこパス」を訴求します。

おトクな
とこパス発売中！

NA：
おトクなとこパスも！



・とこパスを持って入場する家族



家族：
とこパス最高！

ヒゲのび太：2案持ってきていて、一つ目がストレートめの表現です。所沢の遊びみたいなのを一番味わえるのは親子だと思うので、一応親子を主人公にしています。で、都内で過ごす親子って、親目線でいうと子どもに付き添っているような楽しみ方しかないなと思っていて、そういう付き添いじゃなくて家族で遊べますっていうのを訴求しようと思いました。ただ、その親の本音の部分って真面目にいうとえぐい気がしたので、メタルの曲に乗せて本音を表現するみたいなので、ここは曲っぽくしています。「いってきます」と言ったあとに、スマホを見ているお母さんの心の声がメタルっぽくデスボイスみたいな声で曲に合わせて言って、子どもが「じゃあ所沢は？」と言ってスピーディにいろんな場所を見せる…。で、遊び場の全てがここにあるというふうなことを言ってあげて、いざ所沢PlayGround (キラーン)

みたいな言葉を入れて、最後にイエーイ！とカメラ目線でノリノリで楽しんでいるみたいなのを分かりやすくやろうと思いました。

小霜：これ、「いってきまーす」「いってらっしゃい」って誰が言ってる？メタルのこの声のお母さんが言ってるの？

ヒゲのび太：お母さんが。えっと「はーい、いってらっしゃい」って言っているのはお母さんで、「いってきまーす」は子どもです。公園にきた時に、兄弟とかでブランコしにいたりする時に…

小霜：ああ、そういう意味なの？

ヒゲのび太：そうです。すみません。

小霜：公園の中で、ブランコで遊んでくるということね。「じゃあ所沢は？」って誰が言ってるの？

ヒゲのび太：これは子どもが曲中に戻ってきていて、というところですよ。

小霜：なるほど。えっとね、これさっきのモチーフと同じなんだけど。メタルとイージーリスニングみたいなことにしてると思うんだけどさ、なんかメタルが所沢で軽快な音楽になって救われました、以上。じゃあ、ちっとも強くない。これ、お手盛りだよ。こんなんでもいいの？おもしろいこのCM？

ヒゲのび太：前段の説明で皆さん聞いていて、これ面白いかちょっと微妙だなと思っていました。どちらかというところだと結構フォーカスしちゃっていたので。なんか、メタルが唐突に入っているだけみたいなアイデアっていうところですよ。

小霜：そうだよね。

ヒゲのび太：はい。

小霜：すっごいヘビメタのお父さんが帰ってくるとか。

ヒゲのび太：なるほど。一番最後になってことですよ。

小霜：そう。

ヒゲのび太：全部メタルにしちゃうってことですよ。

小霜：いや、会社帰りだからスーツは着てるんだけど、顔とかのメイクはメタルになってて、こんな感じでステレオみたいなのを担いでてさ（笑）。

ヒゲのび太：なるほど（笑）。

小霜：ヘッドバンギングやりながらさ、カバン持ってヘッドバンギングして帰ってきて…みたいなものをオチにつけるとか。

ヒゲのび太：メタル好きな親子でも激しく楽しめる週末みたいなところですよ？

小霜：いや、だから闇の心が救われるってことでしょ？

ヒゲのび太：これはそうです。

小霜：こういうのはつままないんだよなー。「週末ずっとおんなじ公園death!!! 付き添いの母親やることない、退屈death!!!!」とか言ってたら、じゃあ所沢行かない？となったらこういうことになって。で、お母さんの心情だよ。浄化されたような表情があって。

ヒゲのび太：あーなるほど。それで、お父さんが帰ってきて…（笑）。

小霜：お父さん、もっとヘッドバンギングしながら「death!!! death!!! death!!!」って言いながら帰ってくるみたいなね。

反抗期 小霜さんの想像が膨らむような、アイデアの種を出していかなければならないな、と。このお話を聞いていて、膨らんで盛り上がっていくのを感じて、醍醐味というか楽しかったです。

ボンボン めちゃくちゃ笑いました。面白さ方向にいくなら、突き抜けて振り切れという事。理解しました。

ヒゲのび太：お父さんが（笑）。なるほど。

小霜：このお父さんも救わなきゃねとか。頭とおしりをつなげたいから、お父さんも「death!!! death!!!」とか言いながら帰ってきてて、頭でお母さんが「毎日退屈death!!!!」って言うとかさ。

ヒゲのび太：確かに、その方が全然面白いです。

小霜：そうよね。面白くしたいんで。いやもうこれね、頭でさ、メタルとかねやってる時点でおもしろ系じゃん。どうしたっておもしろ系にするしかないじゃん。おもしろ系に振り切るしかないじゃんか。だったらもっと振り切れよってことだ。

エサ待ちbot あるモチーフが出たことに満足せず、そこからどんどん面白い方向などに振り切って尖らせるという姿勢が足りてなかったのだと思いました。

ヒゲのび太：そうですね。

小霜：振り切らないで、まるーく終わらせてるからつまんねえのって思っちゃうわけ。

ヒゲのび太：はい。

小霜：はい。



・普段は、西武園ゆうえんちのキャストの格好をしている男のスパイに話しかける女スパイ。

女: エージェントK、仕事よ。
男: はいボス。(こくり)

・隠れた場所(ジェットコースターの前)で話しかける。

女: K、今回の仕事は、、
SE: ジェットコースターやバイキング(乗り物)の音「ワー！キヤー」

・恨めしそうに見ながら、咳払いで仕切り直して改めて話をする女スパイの話を遮るように再び歓声

女: 今回の、
SE: ジェットコースターやバイキング(乗り物)の音「ワー！キヤー」

・ジェットコースターをにらみつける女スパイ。

女: K、場所を変えるわよ。
男: はいボス(こくり)

・西武球場の前で再び話しかける女スパイ。

女: 今回の仕事は、
(ホームランの音:カキーン、大歓声でかき消される)
(スノボ滑りの楽しそうな男女が通り抜ける)

・周りを見回す。遊ぶものだらけの様子。

二人: ……
男: ……まずは、ちょっと遊んでいきませんか。ボス。
女: ……そうね。



NA: スパイの皆さんも、もちろん大歓迎！(アクション映画風のナレーション)
SE: スパイ風のBGM

T: この街ぜんぶが遊び場だ。
NA: とこざわPlayground

・CMの一番最後に「とこパス」を訴求します。

NA: おトクなとこパス発売中！

・偽造とこパスをつくっているところをプロレスラーにドロップキックされる

プロレスラー: 偽造とこパスは禁止ー！

ヒゲのび太: もう一案の方が、一応さっきのが真面目のつもりで書いていて僕は。で、こっちはおもしろ系で考えています。文字コンテベースなんですけれど、所沢って楽しい遊びがたくさんある場所に静かに潜入したい人を描いたら楽しさが伝わりやすいんじゃないかと思ってスパイ風のドラマみたいなのにしました。で、普段は西武園遊園地のキャストの格好をしている男のスパイに、話しかける女スパイ。「エージェントK、仕事よ。」「はいボス。」と隠れた場所で話しかける。「K、今回の仕事は？」

と言った時に、ジェットコースターとバイキングの乗り物の歓声でかき消されてしまう。で、恨めしそうに見ながら、改めて仕事の話をしようとするがまた「キヤー」と歓声があって。西武球場に場所を変えてまた話しかけるんだけど、今度はホームランのカキーンという音と大歓声でかき消されてしまっ。しかも、スノボ帰りの楽しそうな男女に囲まれたりして、もうこんなところで話してる場合じゃないなとなって。「まずはちょっと遊んでいきませんか、ボス。」「そうね。」と遊びに行っちゃうっていう。で、「この街ぜんぶが遊び場だ、所沢PlayGround」「スパイのみなさんも、もちろん大歓迎」とナレーションを入れて、偽造とこパスをスパイなんで作っているところをプロレスラーにドロップキックされるみたいなオチを最後に作っています。

小霜：おもしろ企画って言ったんだけどさ、どこがおもしろいの？

ヒゲのび太：すみません。全体的にコントみたいにしようと思ったんですけど。

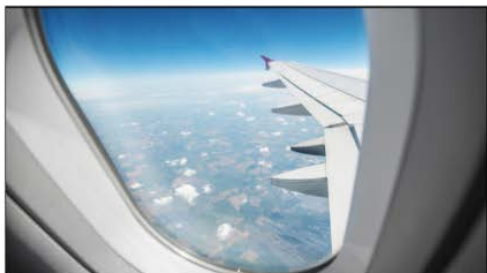
小霜：完全にスベってるよね。

ヒゲのび太：はい。

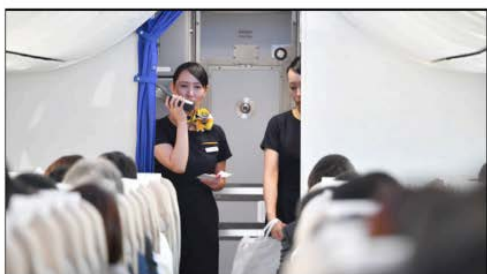
小霜：はい。

ヒゲのび太：ありがとうございます。

小霜：じゃあ次の人。



SE:
飛行機が飛んでいる音
↓
ポーン（機内のアナウンス時の効果音）



CA:
まもなく所沢Playgroundに着陸します

(テンポよく場面を変えていく)



※
"ようこそ 所沢PLAYGROUND"
と空港内に横断幕が貼られているのがチラッと見える

(テンポよく場面を変えていく)



NA:
トコロザワパスポートがあれば



NA:
所沢のいろんな施設が

※画はカップルがその施設で楽しんでいる様子



※画はカップルがその施設で楽しんでいる様子



NA:
通い放題になる

※画はカップルがその施設で楽しんでいる様子



※画はカップルがその施設で楽しんでいる様子



男: まだこんな時間だ!
女: 次どこ行こっか?



NA: この街ぜんぶが遊び場です。

定規：これは先ほどお出ししたものとは違って、所沢パスポートを起点に考えた企画なんですけれど。パスポートということで、最初に飛行機の機内から外眺めている映像と飛行機が飛んでる音から始まって、ポーンというよくある機内のアナウンスが流れます。CAが「まもなく所沢プレイグラウンドに到着します」とアナウンス。税関のところでは、ようこそプレイグラウンドと空港内に飾られていて、所沢プレイグラウンドに着いたんだというのを出す演出とともにパスポートを出します。そこでナレーションが始まって「所沢パスポートがあれば…」と入って、「所沢のいろんな施設が…」というふうが続いて、カップルがいろんな場所で楽しんでる映像を見せて、通り放題になると伝えます。最後に、男性が「まだこんな時間か」と言うと、女性が「次どこ行こうか」と言って、「この街全部が遊び場だ」というふうに終わります。

小霜：あのね、これもモチーフの話なんだけれど。パスポートっていうことからね、そういうふうにしたんだと思うんだけどさ。僕はこの気分はあるなという気がしたのよ。

定規 表現案なのに「気分」を自分の中で考えずに、「パスポート=飛行機で旅行」ってとこで満足してました。シズルかどうか、CMは特にそこを最後のチェックポイントとして意識しなくては、、！

あの、ラスベガスとかさマカオとかね、カンヌとかあるいはハワイとか。リゾートに行く感じね。リゾートっていうモチーフだったら分かると思ったわけ。所沢っていうのがリゾート的？関東のラスベガスみたいなさ。そんな感じのイメージになると面白いなと思ったわけ。ところがね、ここから先がなんかいろいろ見せて終わり、ってのがカクンなんだよ。「まだこの時間だ」「次どこ行こうか」これでいいの？

テンバリ君 ストラテジーのときは「リゾート」案を出した方おられましたけれど、そのときは微妙な評価で。でも、この案はかなり高い評価。両者の違いのわかる方、おられますか？

エセビ 都会的なリゾートならわかる（自然を主体とするのは違う）、と以前小霜さんがおっしゃっていたので、そこが違うと思っていて…リゾートというモチーフを使って、所沢が都会的なリゾートだと上手く伝わる予想がつくから良い評価だったのではないのでしょうか？

テンバリ君 なるほど、ありがとうございます！

定規：そうですね。ほんとに、そうですね。所沢の各施設を見せていくところは脚色しづらいと思うんですけど、それはどう楽しむかっていうところなんですかね。セリフだったりとか、ギャーとかそういう反応とか、そういうところで…。

小霜：いや、そこじゃなくてここよ。頭で飛行機見せてるわけじゃなか。リゾートに来たかのようなね。今からリゾート行くぞーみたいな気分を作ってるわけじゃなか。

定規：はい。

小霜：それを回収しなきゃいけないよね。どうこれを回収するの？っていう。それが全くない。

定規：なるほど。

小霜：いや、だからラスベガス行きましたと。で、ラスベガスに一週間滞在して帰りますと。帰る時なんて言うの？とかね、帰る時どういう気分？とかさ。そこから作んなきゃいけないと思う。「来年も来たいね」

「来月でも来れるんじゃない？」とかさ。分かんないけど。たいていそういうところから考えていって、家族でまた来ようねとかさ、言ったりするじゃんか。お母さんが子どもたちにまた来ようねって言うてる…これってリゾートシズルだよ。そこにお父さんがなんか言うとか。あるいはナレーターがなんか言うとかね。

定規：今のやつシズルが全くないってことですよ、つまり。

小霜：リゾートシズルがない。だから、モチーフになっていないってことだ。モチーフができていない。たとえば、そのお父さんお母さん子どもたちに「また来ようね」と言ったら、ナレーションで「来週とかどうですか」と入れたりさ。いやまあ、ラスベガスじゃないからねこは。所沢だから別に毎週来てもいいですよみたいなことだよ。「来週とかでも是非」とか。そういうことが入ってくるとかさ。

定規：…はい。

小霜：今、「はい」に自信が感じられなかったけれど、理解できているかな？

定規：あの、理解はすごくできたんですけど…飛行機っていうのを見つけて満足していて、全然旅行先に着く時の高揚感みたいなのに全然アイデア見だせていなかったというか。そこを全然考えられていなかったの、全然ダメだったなと。

小霜：そうだね。パスポートだから飛行機っていうのはつまらない。君の意図とは違うと思うけれど、僕はこれあると思ったのは、リゾート感覚っていうところだったらあるなということ。

定規：ありがとうございます。

小霜：はい。あ、ボンボンは今日休みなんだね。はい、じゃあ以上で。今日のところで質問があれば。

ボンボン 今回出張の関係で休んでしまいましたが、自分の案を見返すと説明ビデオの様でアイデアが全然ないなと思いました。

語尾ハート♡：質問してもよろしいでしょうか？

小霜：はいはい。

語尾ハート♡：今日出た中だと、例えばニュース番組とかは、あるあるというか、CMでみんなが飽き飽きしているものっていうものの感覚を身につけるには、もうたくさんCMを見るしかないってことですよ。

小霜：たくさん見なくても、普通に生活してれば分かるんじゃない？

語尾ハート♡：確かにそうですね。

小霜：マニアになる必要はないよ。

語尾ハート♡：ありがとうございます。

小霜：他は？

ヒゲのび太：ヒゲのび太です。質問いいですか？

小霜：うん。

ヒゲのび太：先ほど皆さんのアイデアを見て、これはありそうだなとか、これはないなみたいな感覚、これって感覚的な部分でけっこう判断されてるということでしょうか？

小霜：直感。

ヒゲのび太：面白そうかどうかという…。

小霜：じゃあ具体的にね、実際に僕がCDとしてプレゼンするんだったらという視点で見ると…そうだなあ。A案B案C案持っていくとして、これは（※住めるよ案）ねC案。人が住んでるってやつね。A案だと、ちと怖い。ふざけすぎてるとか言われかねないんで。飛び道具だね。おもしろいじゃないかっていうふうになるか、これはないだろうってなるか半々だから、これで勝負はしない。こういうのもありますよとC案で持って行って面白いじゃんとか食いついてきたらいけると、そういう感じかな。

ギャーウオーイェーイはどうかなあ。市長案はね、B案。突然市長が出るのは好きだけど、A案にしちゃうとね「いやいや市長は出ませんから」で終わっちゃうこともあるんで。これもB案だね。

A案で持っていくのは、誰もペケが出せないこれが（連呼案）A案かな。とにかく、所沢プレイグラウンド所沢プレイグラウンドって刷り込みましようっていう。そうね、これをA案で持っていくかな。

メタルはね多分採用しないと思うから持っていかない。これも（リゾート案）ちょっと捨てがたいな。これをA案にするかもしれない。さっきのプレイグラウンドを連呼するっていうのもね、割とありがちだから。普通だねと言われかねないんで。そうだな、俺だったらこのリゾート企画をA案、これを本命にして、あと市長が出てくるのをB案、人が住んでるのをC案っていうABC案でプレゼンするなあ。市長出てくるいいねえ～ってなる可能性もあるし、人が住んでる面白いじゃないか！ってなる可能性もある。そういう面白系はどうも…みたいだったら、これで（リゾート案で）勝負できるし。みたいな感じかな。

ヒゲのび太：ありがとうございます。

小霜：はい。

テンパリ君：前回教わった記号性に関してなんですけれど。今回の皆さんのアイデアを踏まえて、記号性が一番立ってるなとか、お客さんにとって目印になりやすいなっていうのは、例えば市長とか、そういうみんなが知っているものが出てくることになるんでしょうか？

小霜：そういうことじゃない。えっと、今のABCでいうならば、AとCは記号性がある。という意味は、Aはリゾートっていうさ、記号が立ってる。Cは住めるっていう記号が立ってる。Bは立ってないよ、いまいち。

なんか市長が出てきたねっていうぐらいで。そういう意味では市長っていう記号はあるんだけど、所沢=〇〇っていう意味での記号ではないからね。

テンパリ君 伝える「主題」が目立っている象徴的な表現があれば、記号があるっていうことなんですね。でも、それは後から見直したときそうで考えればいいということで、とにかくワンアイデア。

テンパリ君 : ああ、なるほど。

小霜 : そうでしょ。Aは所沢=リゾートっていう記号だし、Cは所沢=住めるって記号だから。

宇宙人 前回より少し記号について理解できた気がしました。「住める」記号については正直なところ無意識だったのですが、最も伝えたい主題であり、目立って気になるものが作れたのかなと勝手に思っております。

テンパリ君 : わかりました。ありがとうございます。

エサ待ちbot : すみません、質問いいですか？前回の記号性と、今回のお話で結構大事だったモチーフみたいな関係性についてお聞きしたいんですけど。お話ししている限り、まずテレビCMを作るときにはモチーフ、その絵コンテの中でのこれがテーマだ！みたいなものが必要で、それが所沢=そのテーマみたいなになったら記号性に消化するみたいな、そういうイメージ…

小霜 : モチーフと記号性は違う。

エサ待ちbot : 全然違う…。

小霜 : まあ、全然ではないよ。同じこともあるよ。だから、今のABCのAで言ったら、モチーフはリゾートでありリゾートっていう記号でもあり。これはイコールになっているよね。ただ、Cで言ったらねモチーフは何かって言ったら、子どもの駄々だよね。

宇宙人 モチーフはCMの展開における主な素材（要素、主題、設定）で、記号性はCMにおける記憶に残る部分（ここを中心に広げていく、伝えるメインテーマであり気を引く単語）ということでしょうか…？

エサ待ちBOT 私もおおよそ理解あっております！今回で言うと、モチーフは子どもの駄々とかだったりとかCMを一貫するテーマで、記号性はモチーフなどもある広告の中で記憶に残したいものなのかなと理解しておりました。

エサ待ちbot : 同じじゃない時もある…

小霜 : ん？

エサ待ちbot : 同じ時もあるし、同じじゃない時もあるってことですよね。

小霜 : そうそう。

エサ待ちbot : 良く分かりました。ありがとうございます。すみません。

小霜 : はい。

テンパリ君：ありがとうございます。先ほどの質問の続きで、例えば所沢＝リゾートの記号が立つってところについて、例えば小霜さんが企画を考えるときは記号から考えていかれるのでしょうか？そうとも限らないのでしょうか？

小霜：それはバラバラ。

テンパリ君：ということは、やっぱり最初にお話あった通り、とにかく強いアイデア、強いアイデアっていうふうに…

小霜：そう。これだったらね、これ書いた人はリゾートなんて考えてないわけよ。単にパスポートだから飛行機ってやっただけなの。俺はそういうのを見て、これはリゾートっていうモチーフでできるなってパツと思うわけね。そうするとそれは記号から考えるとかではないわけよ。俺はずっと言っているのは、若い奴なんかアイデア出せとネタを出せと。だから、ネタを与えてくれたらそっから形にするからさと、そういうことで。

テンパリ君：はい。

小霜：ネタありきなんだよ。

テンパリ君：はい。ありがとうございます。

小霜：あのね、いろいろねモチーフだとか記号性だとか言ってるけれどもそれはこの企画のことを説明したらこうなるよっていうことであって、逆算して、じゃあ企画から考えたらいいんですかとかにはなって欲しくないわけよ。そんなね、簡単なもんじゃないんだよ。クリエイティブっていうのは。みんなねクリエイティブっていうもののことを「ああなればこうなる」っていう、なんか公式に当てはめて答えを出すものっていうふうに思いがちだけど、そんな公式はないんでね。色々考えて、アイデアの種をわーって並べていて、そん中からこれなんか気になるな、ってものを形にしていきたいと思いますよ、それしかない。

宇宙人 クリエイティブのアイデアとネタができていれば自ずと説明もできているということですね。逆に説明できないなら崩壊している、けどそれは逆にしてはいけないと。とにかく新鮮で良い、よく理解されて新しいネタを心がけます！

テンパリ君：はい。

小霜：こうやったらいいんですか、ああやったらいいんですか、みたいなことはもう口にしないほうがいい。

テンパリ君：はい。

小霜：そんなね、早道はないよ。早道をしようっていうふうにしたときに、もうそれは失敗なの。うまくいかない。クリエイティブっていうのは、ものすごく非効率な作業。非効率で無駄なことをどんだけいっぱいやるか。それが大事であって。なのに、なんとか効率よくやってやろうと「こういう場合はこうしたらいいんですか？」というのは矛盾なのよ。

テンパリ君 非効率で無駄なことをもっとたくさんやろうと思いました。もっとクリエイティブ思考に時間をとれるように、自分の事務仕事をもっと減らそうと思います。

テンパリ君：はい。ありがとうございます。

小霜：他には？まあでもね、全体的には割と優秀だよ。拾える企画があったからね、三つか四つぐらい。エージェンシーの若い奴らとかとやっても、もうなんか、全然箸にも棒にもかからないような、そんなのがほとんどで。拾える企画がちょっとあるかなぐらいなのよ。まあ、それに比べてすごい優秀とは言えないけれども、劣ってはいないかなぐらいかな。はい。ということで、次回がいよいよ最終回なんで、一年のまとめとして一年全体を通じての質問を持ってくる。

宇宙人：質問を…？

小霜：質問を持ってくる。一年を通じての質問。

語尾ハート♡：分かりました。

小霜：うん。当番がぐるーっとまわして、一周してまだ時間が余っていたら、さらに回すという感じで。まあ、最低でも時間がオーバーしても一周はするというで。一問ずつね。

語尾ハート♡：はい。渾身の一問ですね。

小霜：時間が余ったら2問目にいくということで。はいはい。

テンパリ君：ありがとうございます。それは事前課題としては、いつもの通りにパワーポイントにまとめて提出ということでしょうか？

小霜：それがいいかな。事前に準備したほうがいいかもしれないね。

テンパリ君：分かりました。

小霜：OK？

ヒゲのび太：はい。

小霜：じゃあ、再来週また。

一同：ありがとうございました。